日米
THE JAPANESE AMERICAN
PUBLISHED DAILY AT 650 ELLIS STREET
SAN FRANCISCO CALIFORNIA
PHONES: PROSPECT 6238-6239
ENTERED AT S. F. POST OFFICE AS SECOND CLASS MATTER
K. ABIKO, EDITOR & PROP.
SUBSCRIPTION RATES IN ADVANCE
DAILY.....ONE YEAR..... $11.00
DAILY.....SIX MONTHS..... 6.00
DAILY.....ONE MONTH..... 1.00
SINGLE COPIES..... 5 CENT

現内閣瓦解だ 後繼内閣 當然民政黨に

〔1〕

不死身内閣と云はれた田中内閣にも最後の日が來た、一昨日、田中内閣は愈々最後の臨時閣議を開いて、田中首相は滿洲事件に關し聖慮を悲しまし奉り、すべて閣僚に同じ辭を求め正式に總辭職と決定し田中首相が宮中の御都合を問ひ參内、辭表を捧呈する申合せをしたがその時期は二日朝十時頃にするだらうと東京特電は報じて來た、今二日は愈々田中内閣の最後の日となるべく、全身創痍のうちにカゼをつきに狂奔せる内閣だけにその最後はそゞろ憐れをさそはしむるものがある

〔2〕

元來、田中内閣は、組閣以來失政に失態を重ね内治外交とも に失政の續出であつた、このことは既に屢々論述した處じあるが、最近は例の不戰條約が枢府通過の際の如きその責任を内閣に白にのみ擔りけてノホンを極めこまんとし西々然と内閣改造の舞臺に入らんとして遂に滿洲事件に暗礁に乘あげて仕舞ひ、組みとした西園寺公の援助懇請もその功を奏せず遂に投げだしの運命に逢着したのであつた。之も要するに我が身から出た錆、今となつては萬事休すである次第であるが、顧みれば過去二ケ年二ケ月、その間、田中内閣は何等爲すところなく、失政續出、カゼをつきに終始してゝ感があつた。

〔3〕

田中内閣は愈々今日辭表捧呈すれば直ちに後繼内閣の問題に入ち聞だが、果たして大命は何人に降下するかといふに、宇垣大將、齋藤實子爵を噂するものもあるらしい、斯かる政黨を基礎とせざる中間内閣は最早々時代錯誤であつて、憲政の常道から反對黨たる民政黨の首領濱口雄幸氏に降下することは疑ひをいれぬ、斯くなつて見れば馬鹿を見たのは、床次氏であつて田中内閣の後を受けて中間内閣なき夢みてゐた結果、田中改造内閣に入閣も遂々として進まず最近漸く納得したらしかつたがその時は既に遅し、田中内閣破滅の瀬戸際、立ち至つてゐたのであつた、斯くて床次氏も遂に宰相の印授は永久に夢に了らねば幸であらう。

〔4〕

早くも濱口氏に大命降下するものと見て民政黨内閣の輝鋼れが傳へられて來た外相には幣原により渡支するだらうとの噂も聚の關係から幣原男が動かぬ。ところで若し幣原男が出馬しなければ任は日支國交上一層の艱難を加へるのみならず必ず日支貿易を特續すべく期待されてゐる。

その結果、對支外交の如きも、うと思はれる外相には井上準之助氏、蔵相に若槻前首相及び山本達雄氏、農相に田中内閣の後を承けた民政黨男爵に上つてゐるらしいが、若槻氏は人心を新にする上に於ても適任者と思はれるが、金解禁その他財政上の難問題の起つてゐる今日、井上氏か山本男爵に譲るべきか、金解禁その他財政上の難問題の起つてゐる今日、井上氏は果たして最有望視されてゐる、同氏は果たして中間内閣なれば同人が蔵相になつても金解禁の促進せらるゝことは疑ひをいれぬ、民政黨は積極政策を以て樹つてゐるものであるから政友會が政府を取つた時のやうに花々しいことは行はぬであらうが、その代り必ず、大言壯語的な實行不可能の政黨に國民を不安陥し入れるやうなこともあるまい、兎に角、亂暴至らざるなく、過して井上氏か山本男爵に譲るべく、はれるが、金解禁その他財政上の難問題の起つてゐる今日、井上氏は果たして最有望視されてゐる、同氏は果たして中間内閣なれば同人が蔵相になつても金解禁の促進せらるゝことは疑ひをいれぬ、民政黨は積極政策を以て樹つてゐるものであるから政友會が政府を取つた時のやうに花々しいことは行はぬであらうが、その代り必ず、大言壯語的な實行不可能の政黨に國民を不安陥し入れるやうなこともあるまい、兎に角、亂暴至らざるなく、

本社特約電通合同電報

來るべき民政黨内閣の豫想さる顔ぶれ

若槻、幣原、山本の巨頭入閣か

緊縮政策聲明されん

〔東京一日電通〕田中内閣の沒落について次に來るべき内閣については政客の策動盛んに行はれつゝも憲政の常道は濱口雄幸氏を首班とする民政黨内閣の出現を期待し、濱口氏もこの大任に當る十分の決意をなし閣僚の詮衡に苦慮中であるが噂に上ぼる顔觸は左の如くである。

内閣總理大臣　濱口雄幸
外務大臣　幣原喜重郎
内務大臣　江木翼
大蔵大臣　井上準之助
（或ひは山本達雄、濱口首相兼任）
陸軍大臣　宇垣一成
海軍大臣　大角岑生
（或ひは鳥田雅太郎）
司法大臣　小橋一太
農林大臣　松田源治
商工大臣　町田忠治
逓信大臣　安達謙蔵
鐵道大臣　小泉策太郎
拓務大臣　渡辺千冬
文部大臣　川崎克
内閣書記官長　鈴木富士彌
法制局長官　松村義一
警視總監　大臣　宇垣一成
（或ひは鳥田雅太郎）
財部彪
（或ひは安保清種）

各殖民地長官
湯浅倉平、太田政弘
石塚英蔵、佐竹三吾
菅原通敬、塚本清治
齋藤隆夫

金解禁斷行

直ちに言明

〔東京一日電通〕民政黨では組閣とともに金解禁斷行緊縮政策樹立聲明をなすはずである

地方官大異動

豫期さる

〔東京一日電通〕田中内閣の内閣成立に伴ふ地方官大異動において政友系と目せられる知事廿五名、内務部長十一名、警察部長十一名は突然馘首るべく噂高く近動も猛烈であつたが結局左の如く決定した

新勅選

四名決定

〔東京一日電通〕田中内閣の成立に伴ふ地方官大異動において政友系と目せられる知事廿五名、内務部長十一名、警察部長十一名は突然馘首るべく噂高く近動も猛烈であつたが結局左の如く決定した

滿洲事件の責任者處罰

河本大佐は停職

〔東京一日電通〕滿洲事件の責任者處分は内閣とり離し特表することに決し一日陸軍省より左の通り發表された

關東軍司令官
陸軍中將　村岡長太郎
依願豫備役仰付
第九師團司令部付
歩兵大佐　河本大作
停職を仰付

獨立守備隊司令官
陸軍少將　水町竹三
前關東軍參謀長
陸軍中將　齋藤恒
譴責

新關東軍

司令官には畑中將親補

〔東京一日電通〕關東軍司令官後任としては本日左のごと發表された

第一師團長
陸軍中將　畑英太郎
關東軍司令官
陸軍中將　眞崎甚三郎
任第一師團長

同時に本日九時官中にて親補式行はれた

哀れは深かし矣

田中内閣沒落の日

最後の營みを協議全閣僚辭表提出

總辭職奏請はけふ

〔東京一日電通〕田中内閣最後の臨時閣議は豫定通り一日午前十時より首相官邸に開かれ、田中首相は奥下宮國務大臣全部出席、首相より滿洲事件に關し聖慮をわづらはし恐懼にたへず責を負ふて辭表を捧呈したい旨を述べ、各閣僚の同意をもとめ正式にこれを決定し、總辭職の理由および經過を内閣の記錄にのこすため、總辭職の聲明書案を決定した後辭表を田中首相が取りまとめ、官中の御都合を伺ひ參内捧呈することを申し合せがその時期は二日（火曜日）朝十時頃になるであらう

閣議はついで動員四名の銓衡をへなほ滿洲事件の後始末ならびに退却にさしなほ省部の處置その他については最後の處置をなし一同最後の晩餐を共にして盃をあげて再挙を厳誓

後の臨時閣議を終つた政友會は

政局を靜觀

申合せ

〔東京一日電通〕政友會は後の動向に關しては絶對に沈默をまもり何等の策動をなさず政局の推移を靜觀することを申しあはせた

首相床次と會見

提携申込み

〔東京一日電通〕昨夜田中首相は床次竹二郎氏と會見し野黨として提携を申しあはせた

政新聯立

岡崎高橋兩氏策動

〔東京一日電通〕政友會の長老岡崎高橋光威氏等は政友床次の聯立内閣成立に策動しつゝあるが首相はこの際かゝる運動を起すことは反對してゐる

長岡總監

政友會入り

〔東京一日電通〕警視總監長岡隆太郎氏は辭表提出と同時に政友會に入黨した

小川鐵相の行掛け駄賃

京成電車乘入許可

〔東京一日電通〕小川鐵相は内閣總辭職の行掛けの駄賃に間もなく京成電車東京市内乘入れの件を認可した

英首相の訪米時期

まだ不確定

〔ロンドン州日合同〕英首相の訪米時期については未だ確定しない旨本日正式に發表された。右は首相が八月中に出發する友床次の聯立内閣成立に策動しつゝあるが首相はこの際かゝる運動を起すことは反對してゐる

横須賀を出た訪米練習艦隊

…航程三萬海里の潮路

〔横須賀一日電通〕司令官野村吉三郎中將の率ゆる練習艦に搭乘の海軍士官候補生八十名は本日横須賀を出港し一日午前十一時北アメリカの東西海岸に向け横須賀を抜錨、洋航海の途についた。往復豫定三萬海里で本年十二月廿八日横須賀に歸る豫定である。

敵友両内閣が鬼級たる地だけに近來にない廣範囲の異動が行はれるであらう

進歩した支那蠶業

蠶糸中央會 視察員派遣

〔東京一日合同〕支那最近の蠶絲業は日本の施設を模して檢査格の優良蠶種を配附し新式製糸機械の採用等によりいちじるしく發達をゝげたが、支那蠶絲業の發達は日本にとつて關係深いので蠶糸中央會では特に視察團を派遣し支那中部地方の蠶絲業を詳細に視察せしむることになつた。氏は七日東京發約一ケ月の豫定で南支方面を視察するといふ

日本最初の女督學官任命さる

〔東京一日電通〕日本最初の女督學官横口君子、成田淳子、西野ミヨシの三女史本日任命發表された

一日から深夜業廢止

〔東京一日電通〕全國各都工場は本日より勞働會議決議に從ひ深夜業を廢止した

横濱市電 怠業開始

〔横濱一日電通〕横濱市電氣軌道業員は待遇改善をなげひ、怠業に入り本日始水道土木局員も同情怠業を始の形勢にある

沖電氣罷業

〔東京一日電通〕沖電氣工場八百名の罷業員は本日罷業を解始した

THE YOKOHAMA SPECIE BANK, Ltd.
SAN FRANCISCO BRANCH 415 Sansome St. Tel. Kearney 1395
LOS ANGELES BRANCH 100 N. Main St. Tel. Mutual 6144-6145
資本金（全額拂込）壹億圓
積立及繰越金 一億二百六十餘萬圓
預金總額 六億三百万圓
●米弗貸預金 利率年四分、但し桑港支店扱に限り一ケ年四分半
定期預金 六ケ月
チエツキング（殘高相當なる時は特に利息御支拂可能）
アクカウント
●郷里送金（日本全國何れの地へも無手數料にて取扱最近便にて精々勉強仕候）
●外國爲替（貸附、割引、代金取立等一切銀行業務一切至極御便利に取扱申候）
定期預金 利率一ケ年以上四分五厘
定期特別預金 十ケ年迄書替手續省略、六ケ月毎に利子計入、利率年四分五厘
通知預金 利率日歩九厘
横濱正金銀行 桑港支店 羅府分店

MIKADO HOTEL
1734 Post St. S. F. Tel. West 1991
日本人町の中心 各客室冷暖水の設備あり
桑港 ミカド・ホテル 館主 世良田昌一
再入國書類手續、出國許可手續

（公認）日本證券公債株券賣買
日本證券會社
NIPPON SECURITIES CO.
R.M. 616 Balfour Bldg. 351 California St. Garfield 5577 S. F. Cal.

件店にある書籍でも大概は弊店にも御座いますから、精々御用命の程を
ニホンデカメロン 河原萬吉 二、〇〇
就會と哲學 南亮三郎 二、〇〇
思想問題 江川川亂歩 一、五〇
陰獣 厨川白村 二、五〇
近代の戀愛觀
剣豪 近藤勇 正編 中内蝶二 各一、三〇
ハーバートフーバー 加藤三郎 一、〇〇
湖畔吟 楚人冠 八〇
サラリーマン物語 正編 前田河廣一郎 各一、三〇
廣掌中漢和新辞典 宇野哲人 二、二〇
明解漢和辞典 金澤庄三郎 二、三〇
小辞林 鈴木信太郎 一、三〇
ペン字體 いろは辞典 芳賀矢一 一、二〇
自習漢和辞典 幸田露伴 四、八〇
索引完備 教話辞典 長尾大學 三、八〇
最新刊書籍紹介（第六）
縮刷字源 鶴野道明 三、八〇
詳解漢和大字典 富山房發兌 大槻文彦 八、〇
縮刷言海 金澤庄三郎 四、八〇
縮刷辞林 金澤庄三郎 一、二〇
日本貨幣 長岡新太郎 一、二〇
日本貨幣 芳賀矢一 一、二〇
日本貨幣 芳賀矢一 一、二〇
日本貨幣 芳賀矢一

一九二九年度は一億八千萬の剩餘

米國々債は十六億九千万

米國財界好況を示す

(華府三十日) 本年度をもつてろ二億四百萬弗の増加を來たし米國の一九二九年の豫算年度は終了したが、過去一ケ年間における國庫剩餘金は一億八千五百萬弗にのぼり、國債は百六十九億三千百萬弗に減少したと大藏省は常局より發表を見た。大藏長官メロン氏は、かくのごとき好成績をあげ得たのは、要するに米國經濟界繁榮の賜であると云つてゐるが、一ケ年間の總歳入は四十億三千三百萬弗で、これに反して

總支出は 三十八億四千百萬弗にのぼつてゐる。これを前期と比べて三千三百萬弗方の増加を來たしてゐるが、總歳入は一億五廿六百萬弗で、前期に比べて一億五廿六百萬弗の減少で、六億七百萬弗といふ數字を示してゐる。

稅收入は 前期に比べて一億五廿六百萬弗の減少を來たしてゐるが、總歳入は一億二百萬弗方の減少を來たしてゐるが、前期に比べて三千三百萬弗方の増加を來たしてゐる。

之に反して 會社稅は稅額を一パーセント方減じたので前期に比べて一億五廿六百萬弗方の減少を來たしてゐるが、個人稅は六億二百萬弗で、前期に比べて三千三百萬弗方の増加を來たしてゐる。

斯くして ペリー氏は時期尚早であつた大人保利通に面會をもとめ、人道上から大に論じ、日本の監獄に西洋文明が入つたのは、その時からであつた。日本はその家の臺所と、ゴミ溜を見れば、監獄とは大小五百五個の監獄があり、それに收容されてゐる囚人の數は明治十四年ごろには八萬にのぼつてゐたが、今日は實に半數の四萬になつてゐる。これを人口に對して見ると恰も人口十萬に對して千六百人の囚人を有するの割合である。この數字は外國に比べて日本が一番大きいのである。英國のごときは十萬に對して八百乃至九百であり、米國は獨り露國のみ我が國の數字に非常に近い。

近年世界 各國ともに犯罪數が著しく減少しつゝあるが、しかし決して樂觀す許さないのである。何となれば日本は思想的に混亂してゐるからである。

犯罪數は漸次減少しつゝあるが

社會事業が發達せば監獄が空家になる

日本が在監率が多い思想難と生活難から

有馬四郎助氏講演

左は目下社會事業大會に出席中の典獄有馬四郎助氏は一昨日ポスト街基督教會に於て試みた講演の大要である

日本は日 日本の監獄は、世界の一番カスである。監獄事業がすべての方面に進んだと言はれてゐるのであるが、その進歩の著しい事實は、殊に監獄事業の進歩に現はれてゐるのである。兄獄政改良の要を說いたのである。

一番カス 一軒の家の樣子といふものは、その家の臺所と、ゴミ溜を見ればわかるといふのであるが、監獄といふのは丁度一種のゴミ溜のやうなものである。人間ゴミ溜であつた。明治八、九年のころ、實教師にしてつ警者であつたベリーといふ人があつた。たまたま、日本の監獄に多くの脚氣病者が發生し、外國の名醫としてその頃知られたベリー氏に依賴して、この脚氣病を診察してもらつたのである。所がベリー氏は脚氣病を診察するよりもまつさきにひどい監獄病を發見し苦しんでゐるからである。思ひたのである。それは監獄における罪人達の病氣であつた。新く原因が安定しない以上決して日本の前途を樂觀するのことき場所に人間を入れておくのは人を殺すものであつて、あつて實にひどい所であつたが、あだかも此暗い、空氣の流通のよくない、くさい場所に、道の光明を導いたのは、人の外國人その國の文化の程度にわかるのである。そこで我が日本の監獄は短い間に比較的よく進歩したのであつて、これは日本がいかに文化をよく消化しうる國民であるかを物るものである。維新前は

監獄といふ處は最も暗黑な場所で

犯罪數は漸次減少

彼等を惡化したものは 社會事業が發達すれば人道的になつてゐる。いたるところいづれの都市にもカフエーといふものが盛んに增へて、それが青年の間に惡影響をおよぼしつゝあるが、かういふことが、やはり犯罪を誘發する原因となるものである。さにかく世には惡徳をよくすることは人といふものはないのであつて少くする所以である。

日本の社會は漸次享樂的になつてゐる。 殊に、齊根のものである。

大和對旭野球戰

十六對五にて大和大敗

(サンノゼ支社通信) 大和對旭野球戰が丹旭野球場で開催され、三回一死一塁三力谷安打、神野四球、中原三振、中飛にむなしく、(旭)池田九失に生き市下同じく五失に一塁を得、德永三振、竹坂遊、御城三振、日永中飛で死す。

第二回 沖野三振、三力谷三振、木村安打、主田安打、藤田死、球宮田四球、中原安打、主田生還、宮崎生還、岡三振、須賀は二點を入れいよいよ肉迫し來つた。(旭)坂本三飛、日永、弟中飛、砥綿安打、池田、綿をも生還せしめ市下安打し一塁に進みたるも右翼よりの捕殺に死して無得點。

第三回 中飛、岡田遊、御城に死して無得點。(旭)日永、安打、砥綿四球、池田、安市下一塁の失に生き、永生還、砥綿は本塁にふれ、德永中飛に死して吉田二塁打し市下生還、城三振してをる。

第四回 三力谷遊、御城主田同じく三塁に進んでいたに回復し、竹坂の働がなく遠く旭に勝を制せられたのである。

第五回 沖野四球、中原三振、岡田打、主田安打、藤死、球宮田、主田生還、宮崎中飛、沖野過失、補殺、安打、主田安打、藤死、球宮田、刺殺、過失、補殺、安打、主田生還、宮崎中飛、沖野過失、補殺、三振

第六回 三力谷三振、木村安打、主田四球、捕手のエラーに木村本塁をつく宮田三振、山崎中飛、(旭)德永遊、御城竹坂三振、城中飛にて全く空し。

第七回 沖野三振、中原、岡田三振、宮崎三力谷安打、主田四球、宮崎生還、木村中飛、(旭)日永三失に生き坂本、安打、日永、弟安打、砥綿、右翼、兩日永生還、坂本右翼よりの球にて遊撃に刺さる、池田四球、市下三塁打し、池田生還、德永左失に生き、市下生還、吉田中飛に死して終る。

第八回 主田四球、伊藤遊、御宮田三振、主田盜塁、死、(旭)城中飛、日永一塁に死、坂本ゴロにて一塁に死して八回、山下一塁、御神野四球、中原三振、岡田遊、御宮田、主田安打、藤死、球宮田、刺殺、過失、補殺、安打、主田生還、宮崎中飛、沖野過失、補殺、三振

▲大和軍

	得點	安打	安打
一回	〇	一	一
二回	〇	一	一
三回	〇	一	一
四回	〇	一	一
五回	〇	一	一
六回	〇	一	一
七回	〇	一	一
八回	〇	一	一
九回	〇	一	一
計	〇	一	一

▲旭軍

	得點	安打	安打
一回	〇	一	一
二回	〇	一	一
三回	〇	一	一
四回	〇	一	一
五回	〇	一	一
六回	〇	一	一
七回	〇	一	一
八回	〇	一	一
九回	〇	一	一
計	〇	一	一

▲バランス

	大和軍	旭軍
一回	一	一
二回	一	一
三回	一	一
四回	一	一
五回	一	一
六回	一	一
七回	一	一
八回	一	一
九回	一	一
計	一	一

(右)遊左(一)捕(投)(二)(三)中
沖中岡三木主伊宮山
力
野原田石村田藤田崎
二五四五五三四四二
一〇〇〇〇〇〇〇〇〇
一〇〇〇〇〇〇〇〇〇
二

田中内閣瓦解で 爲替が俄に暴騰

民政黨の政策を豫想して 昨日五十仙上る

一揚一落むしろ下押をつゞけて居る日本向き爲替相場は、昨一日に至り一躍四ポイント（五十仙）方の騰貴を見、本日（二日）は「爲替相場は人爲的に調整しなければならぬ」といつてわけでした。次の田中政友内閣の出現を待つ人爲的に調整しなければならぬ」とのことで、正金銀行において為替相場を操作したので、以來漸次騰貴をつゞけて來たものです。今回の總辭職に後繼内閣は再び民政黨に廻るらしいところから、再び在外正貨補充、少額赤十字團から、廣島縣沼隈郡永小學校赤十字團へ、日米親善の一つの試みとして玩具の自動車、ハンカチーフ、石鹸、ハンカチ、鉛筆、そのほか學用品などを贈り届けて來たが、それに添へた手紙がかういふのである。

これは日本の小供が履く下駄です。着さんが靴を履いて歩かれると同様のものです。日本でも靴を履くものもありますが、大多數はこの下駄をはきます。この下駄は私たちの松永町が主產地で、年產額百五萬足です。左様なら

▲一驚拂手形　同上につき精貨四十四弗卅七仙五厘のレイトをもつて取扱ふことになつた。この急騰の原由を住友銀行桑港支店長白尾豐策氏につき、「無論田中政友内閣の瓦解」基く事態です。といふ御承知の通り組内閣（宮崎民政黨）は對米爲替の安定に意を注ぎ厳度の正貨輸送を斷行し、市内ローエル、ハイ、スクールはいふまでもないが、青年子女内日米クラブ見學團一行はいよ〳〵來る七月三日富港出帆の大米洋丸にて憧れの日本にむかつて出發するはやである。一行は十七名にして内先生四名、學生五名、男子生十名、女學生五名であるがいまたかつて米國内のハイ、スクールから渡日見學團が組織される前例がないよしであり、ヤング田中やロルフ市長等も大いに力瘤が入れてゐる。

同見學團　監督はロ校東洋科の教師ロフ討論部のコーチおよび日米フラクのアドヴァザーであるロービー氏である。同氏の令兄はかつて同志社の同窓をしてをりしよしである。彼等の渡日目的は日本及び日本人に接觸して研究せんとする親切なる歓迎をうけてゐる。

日米見學團一行 愈々明日出發

大洋丸で日本へ

桑港アエドラル、リザレグ銀行理事ウーリアム、セスノン氏は一昨日病没した。同氏は桑港において有力な人で、我日米關係および法律顧問として、各方面の關係者を招し、秘密裡に調査委員會を開催する旨の通知をなしたことは既報の通りであるが、前記の通知に對して大藏省、外務省、商務省、海軍省、陸軍省、内務省、農務省、逓信省、司法省、文部省、宗教局、正直氏の親友であつた、年七十二才。

巴里から 靜枝かへる

（神戸二日電通）舞踊家靜枝さんは牛とし歐洲巡遊の途をはつてふ遠なく神戸へ歸つた。

基青の 野營大會

（神戸府川）フウバー大統領の任命されて米國犯罪お委員會の仕事も遂行勝ちの模樣である。なほ委員會の調査する最大問題の一つは禁酒法の問題であつて、同氏は禁酒法の問題に對しては大藏省官メロン、次官ローマン、禁酒委員ドーラの諸氏が委員會へ出頭し、同問題の調査は午後數日間續行されるであらうと。

犯罪調査委員會 秘密に聽問續行

禁酒問題は尚數日間 調査を續行する模様

（桑港府川）桑港基督青年會では過般來桑港長ウイッカーシヤム氏を初め、他の委員は犯罪調査に對し、各方面の統計を求めてゐるが、校友エール大學在學中の處この程卒業し本社編輯局に入社した。

松澤光一氏入社

（小樽一日電通）小樽市色内町より本日午後八時十分小樽市色内町の山開きは本日谷村にて挙行されたが、いま八合目は櫻が滿開である。

富士山開き

八合目は 櫻が滿開

（甲府一日電通）富士山の山開きは本日谷村にて挙行されたが、いま八合目は櫻が滿開である。

英皇帝 御快癒

ロンドンに おかへり

（ロンドン一日合同）ジョージ陛下は御健康は常態にまで御快復あそばされたので日午後ロンドンにおかへりになつた。

「光は西より」

ロイドジョージ 米國をば讃美す

（ロンドン用合同）ロイドジョージ氏は本日ウエルシュ、バプチスト日曜學校で演説し國際聯盟、カのもとに戰爭の勃發は極力防止すべきを說き同時に世界平和運動中におけるアメリカの役割の重大なるを明し、「アメリカの宗教團體の活動により、より一層大なる力となる」とのべた。

七十噸の 軍艦出來る

砲艦「熱海」

（東京一日電通）三井物産の石造々船所で建造中の砲艦「熱海」は揚子江上流警備の約七十トンの小艦であるが、この程竣工して海軍に引渡しを了したいで目下上海に廻航中、遠外艦隊に編入される豫定であるが、艦長には海軍少佐今村行義氏が任命された。

積極的に 經營する

支分店廃止なし 山本支店長語る

郵船會社では各務所が社長に就任して以來三鏡財團の色彩を濃厚にあつたが、費用をきはめて低廉なので青少年中に同行希望者もあらば歓迎するといつてゐる。

一行李の 桐下駄

廣島小學校から アメリカへ返禮

このほど千葉縣州ハワバ小學校の生徒から、廣島縣沼隈郡永小學校赤十字團へ、日米親善の一つの試みとして玩具の自動車、ハンカチーフ、石鹸、鉛筆、そのほか學用品などを贈り届けて來たが、それに添へた手紙がかういふのである。

これは日本の小供が履く下駄です。着さんが靴を履いて歩かれると同様のものです。日本でも靴を履くものもありますが、大多數はこの下駄をはきます。この下駄は私たちの松永町が主產地で、年產額百五萬足です。左様なら

盛大の 近江氏結婚式

江藤吾氏、狩市日本ホテル主人盛で婚約中なりし市内廣島縣の次官ローマン、禁酒委員ドーラ氏の親友であつた、年七十二才。

大連取引所 合併不認可

（東京一日電通）小村拓務次官は一日午後官邸に田中首相を訪問し、大連取引所合併問題について書面結果不認可に決した。

新十郎死す

（東京一日電通）歌舞伎劇界の元老市川新十郎氏は本日逝去した享年六十三歳。

菊五郎丈 うれし泣き

勲六等の傳達式

（東京一日電通）尾上菊五郎丈への勲六等瑞寶章傳達式は本日午前十時首相官邸にて挙行されたが、菊五郎丈は團十郎と父親の寶冠をかざつて今回の破格の光榮の報告をうれしなきに泣いた。

小樽大火

（小樽一日電通）小樽市色内町より本日午後八時十分火出で五戸全燒した。

山本氏一行太公望 好成績で歸桑す

總領事は四封度の大物 郵船さんは成績滿點

長女西本鄭江嬢の結婚式は剣世軍本營において小林少佐司式のもとに行はれた式後九時より小川ホテルにおいて披露宴が催されの隠場があり十二時散會した。

山本郵船支店長の肝入りでウエスターン、パシフック社長專用のヨット、大陸横斷飛行の航空路の特別車に乘じて井上田總領事、小林、三井、野口正金兩支店長は、山本氏、六氏は去る土曜夜、彼エエザー河の鱒谷へフラウトの釣に出掛けたが、昨朝八時すぎ鮭桑、山本氏については釣の成績は如何に、非常に好成績だつたよ。總領事もなの大物を一時間半以上もつて漸く釣のあげられたが、野口さんも三ポンド位の釣られた。僕は四封度インスチュート、米國社會事業研究所の合同主催で目下桑港市内區の横濱第十區支部の合同主催で目下桑港に開かれてゐる世界社會事業大會の出席代表者招待のオ月曜夜八時半から市内ウエスターン、フオンダース會館で催したが、當夜は日本の代表出席者はもちろん、大會出席の代表大

一日夜の 東洋夜

社會事業大會 代表者を招待

桑港インター　ナショナル、ナショナル、米國社會事業研究所の合同主催で目下桑港市内區の横濱第十區支部の合同主催で目下桑港に開かれてゐる世界社會事業大會の出席代表者招待のオ月曜夜八時半から市内ウエスターン、フオンダース會館で催したが、當夜は日本の代表出席者はもちろん、大會出席の代表大

長くて

美しいよと 總領事大得意

（桑港府川）米國ゴルフ界の巨人ボッピー、ジョーンズは當地のゴルフ大會に出場してシカゴの老練選手ターナルに三十六ホールで二十三ストロークの差をもつてジョーンズが快勝し名譽の榮冠を獲得した。

僕の方が

釣ったラウトの比較論に、ジョーンズ 優勝す

（ウイング、フット、クラブ三十日）（桑港府川）米國ゴルフ界の巨人ボッピー、ジョーンズは當地のゴルフ大會に出場してシカゴの老練選手ターナルに三十六ホールで二十三ストロークの差をもつてジョーンズが快勝し名譽の榮冠を獲得した。

愛妻を伴れ

カンサス市 一昨夜來着

（カンサス市三十日）リンドバーグ大佐とその新妻夫人とはセントルイズ市から飛行機で午後七時五十分來着したが、大佐は本日ロンドンに向ひ出發する。

沿岸同胞庭球の 第四回大會開かる

参加選手は三十名にて 日曜夜は歓迎大晩餐會

桑港庭球クラブ主催の第四回沿岸庭球戰は日曜日金門公園にて行はれたが三十名の大多數の參加あり見物人も多く大盛會であつた。なほ同戰は初日から本日に繰延行する為に定である。なほ同戰は初日から本日に繰延行する為に定である。なほ同戰は初日から本日に繰延行する為に定である。なほ同戰は初日から本日に繰延行する為に定である。

郵船庭球部 復活した

其第一回戰 きのふ挙行

郵船支店では久しく中止してゐた郵船庭球部を復活し、今回新しい陣容をたて内對の試合に腕をとぐるから、ハワイ出生者で市民權なき人々は、知友を誘ひ合はせて早速申込まれるやう希望してゐる。

太平洋の運賃 競爭激甚を極む

三弗に値下げ發表 生糸運賃百封度四弗半を

太平洋航運界へは最近非同盟船が入込んで、運賃市況は攪亂されたので日午後七時五十分來着したが、大

大値下げ

目下太平洋の運賃市況は全く混沌としてゐる。最早行方

千弗位な

價格つくから、百ポンド一弗五十仙方の大値下げを斷行したが運賃競爭につき山本氏の意見かは、一俵に二弗、すしかつかないから、運賃引きかけも殆ど

優勝

金門貸自動車

三井銀行

三華族

一昨夜來桑

味噌醤油

メートル法を 昨日から實施

盛會だつた 樺山伯歡迎

午餐會昨日

文藝同好者 座談會

その第一回を 來る七日夜に

婦人一名（極く寄島）

日米新聞社

高尾鶴松

生うなぎ

相馬茶店

祝餅

春月堂

城戸法律事務所

三澤藥局

移轉

移轉廣告

壁紙張替業

愛知ホテル

門野普光

古買

賣店

常盤園

御禮廣告

三上代理事務所

日本行小包

富士運送會社

日本ホテル

小幡女子裁縫學校

資本金一億圓 海外特別當座預金

利率　年四分五厘

本預金は在外者各位の爲め特に設けたる御便利なる預金にして左記の如き特長利益有之候

（一）利息は定期積金公定利率と同じ制合にして毎年五月十一月の二回に計算可致候

（二）通帳を使用する以て御出しれ共自由にして而も五ヶ年間書替の必要無之候

（三）預金取扱店は横濱、神戸、廣島、下關、門司、福岡、長崎の各支店に限り申候

▲本支店出張所々在地

東京　本店　日本橋一丸之内（東京市）
小樽　名古屋　京都　廣島　門司
横濱　神戸　下關　福岡　大阪
大阪西　大阪堂島　大阪川口　若松（福岡縣）
長崎　上海　紐育　倫敦　孟買　濠洲（豪州）
紐育支店　Broadway, New York City N. Y.

桑港市況

七月一日

各種共品豐富で 市況は順調

メロン類稍々弱し

ストロベリー

着荷二八六チエストに三四七九クレート出荷多い程でないが品質やや落ち、極上バナー、ニコマー共トロー七十五仙のさいい四弗五十仙より五弗、プアーひきであつたが大部分は六十仙最下は四十仙見當

ラスベリー着荷七三九クレート値段前週に大差なくクレート一弗より一弗五十仙

ブラック一五七クレート着、品質比較的よくクレート一弗より一弗五十仙で活潑に捌ける、もつともプアー品は八十仙より九十仙見當

アップル

セバストポール地方のグラベンスタイン少量の出荷があつたが大した活氣なくラグ二弗七十五仙より三弗廿五仙見當、アストラチアンはラグ五十仙より七十五仙、大は二弗五十仙、コールドストレーゲ、ニュタオン四テヤもの二弗廿五仙より三弗、ロームビュテー極上二弗廿五仙より二弗五十仙なるが動きは活潑でない。

エッブリカット

出荷相當にあるが市況活潑で上物に對しクレート廿五仙方あがつて一弗七十五仙、普通物は一弗五十仙、最下は八十五仙でさりひきされた。

ピーチ

出荷多からずさりひき活潑であつたが値段は前週と變りなく、メーフラワー、アレキサンダー共箱七十五仙よりサイズによりタップ一弗五十仙

メロン類

カンタローブ二十三貫車到達あり殘荷もあり品多くクレートに對して廿五仙より五十仙方さがる、クロンボー二弗五十仙より三弗、最下二弗、スタンダードで二弗より二弗七十五仙見當

動きは活潑の方

ウオータメロン十四貫車着、動き活潑なるが値段は綱くボンド五仙平より極上三仙を越えない

野菜類

アスパラガス

着荷九二八箱とりひき低落としてスローでグリーン、ルーツが二仙平より最上四仙平ボンド。白ルーツ極上五仙なるが普通四仙でとりひきされた。

コーン

附近地方併せて六七〇サック到着、品質もよくとりひき活潑でサック最上四弗五十仙に行く

ビーン

ハフムーンベーものの出荷多くないがさりひきスローでボンド二仙、もつとも上物は三仙より四仙見當

東部市況

弱状態は一九二二年度から一九二七年度までの全盛時代に比して著しく沈滞に陥つているが、然し一九二二年度以前のレコードに比すれば、總てを凌駕してゐる。

牛ケ年のレコード

土地市況が不振に陥つたのは、最近株式市場の非常な活況を呈しその方面へ資金が吸盡されたからであるが、根本的には土地投資が基礎薄弱で、利潤を賣す點に於いても、又價値評價の點に於いても、決して一流株式に劣つてゐない。尤も最近株式熱の沸騰の進展は、探算とか事業の内容を

無視して

株へ〜との聲がやかましいので、自然土地投資の無視されたのはこれ復止むを得ない處である。尤も桑港市内の平均土地相場は地價を安持してゐるが、比較的に土地投資が著減されてゐるこの際、土地に投資するは最も賢明な氣さえ得るであらう。某土地會社は發表してゐる。

農業と經濟

鐵道會社が自動車の大發達で大打撃だ

一八九三年には米國で僅に四萬臺の自動車を發錄してゐただけだが、その後米國の自動車事業は急速の發達をつゞけ、現在には萬臺の自動車とトラックとが錄を見てゐる盛況を呈してゐる。

米國内で實に二千五百萬臺に全部賣約したさうだ。布哇は一八九二年度に一千九百ケ、バイナップル會社では一千九百ケースの製罐を見るであらうが、これが為に鐵道會社の利益は非常に增加する譯である。

バイナップル相場は高い

會社が高値で賣約をなすと

加州パッキングでは本年度のパイナップル罐詰相場を一ケース五十仙方の値上げを發表した布哇パイナップル會社では三十仙の値上げを決定してゐるから、加州パッキングの賣値は二十仙方上値であるが、同社本年度の賣約は三二〇、三三〇、四三〇、四三〇、三三〇、四三〇、つまり一臺の自動車が一日に一マイルだけ多く走るとすれば一日に十萬車がセーブ出來る譯に

桑港市場

七月一日

果物相場 標準卸値

	單位	仙
エプリカット	ラグ	100
アプル 箱		
ニュタオン四テヤ		三三〇
ロームビュテー小中		三三〇
バナナ 布哇 封度		五半
マクロ瓜スタンダード		二五〇
グレプフルツ南加 箱		四五〇
レモン 鑑		六〇
オレンヂ ネベル 箱		三五〇
同 小		四五〇
苺 クレート		一〇〇
ドロワー		二五〇
ラスベリクレート	箱	一〇〇
ブラック	封度	七
チエリー クレート		二半
ピーチ 封度		二〇
水瓜		一五〇
メロン類		
キャンタロップ		二五〇
ハネヂュー		一〇〇

野菜相場

		仙
アーチチョク	束	三五
ボンチ物 ビート	打	三五
アスパラガス	斤	二
キャロット	打	三五
トマトップ	打	三五
ラディシ	束	三五
ビンズ 南加	斤	四
カリフラワー	打	三五
キャベヂ	百斤	一〇〇
ナス	封度	七
蕪	斤	二
レタス 地方物		
アルオル 白	半袋	一〇〇
赤	袋	一〇〇
黄		一〇〇
半月菊		二
ポテト ワシントン	袋	一〇〇
ニュスタック 封度		二半
袋入野菜		
ビーツ		一〇〇
キャロット		一〇〇
トマトップ		
白		
蕪		一五〇
パースピ クレート		一〇〇
スピナチ		一五〇
スクワシ		一五〇
甘ポテト	斤	一五
トマト	ラグ	一〇〇
セロリー クレート		一五〇
南加		一五〇
ビズモ		一〇〇
キウリ	ラグ	一〇〇
帝國	斤	四
マシルーム クレート		一五〇
レタス		一〇〇
ルーツスター		一五〇

鷄卵相場卸賣

		仙
エキストラ		五半
メヂアム		四半

鷄肉卸商へ

ライブ桑港渡

		仙
レグホン	斤	一五
雄ノ	以下	一五

蒼白き薔薇 (187)

中村武羅夫作

去り行く者(二)

ひさ子と一緒の若い外國人はあをい目をにこ〜させながら、

「……」

ゆり子は、冷かされてゐるやうな氣がしたので、默つてゐた。

「あの方、きたな？」

ひさ子は佐野の男らしい横顔をチラと見て、微笑を含みながら聞いた。

「佐野さんとおつしやるの。」

と、ゆり子は、更に顔を赤らめて、

「お友達？」

「ね。」

「會社員？」

「やつぱり、同じ保險會社に勤めてゐらつしやる方ですの。」

「さう。何だかちよつと見たところ、紳もしさうな方だわね」

ゆり子は、佐野はゆり子が寄つてゆくを待つて、自動車の後に目をやりながら聞いた。

「あの人、不良外人ですの？」

ゆり子は、目を見開らかずにはゐられなかつた。

「ご存じないのですか？」

「ね。ちつともね。」

「ダンスホールなんかに、いつでも出いりして、上流の婦人ばかり誘惑する外人なんです。」

「まあ、さう。」

ゆり子は、紹介もされないのにそんなない〜しい態度を見せるのは、何だか不良外人のやうな氣がして、氣味が惡かつた。

「あの人、不良外人ですの？」

ゆり子は、目を見開らかずにはゐられなかつた。

「ご存じないのですか？」

「ね。ちつともね。」

「ダンスホールなんかに、いつでも出いりして、上流の婦人ばかり誘惑する外人なんです。」

「まあ、さう。」

「マルセルといへば、社交界の人ならだれでも知らないのはないくらに有名な色魔です。驚嘆するプランス人です。」

「ひさ子さんは。そんな人と一緒に。」

ゆり子は驚ろかしさうに肩をすぼめた。ひさ子がそんな不良外人なぞと一緒に歩いて、あんなことに親しくしてゐるとすれば、家庭の結婚生活にも決して滿足を與へてゐないのだといふ氣がしたのである。

「あの奥さんは、あなたのお友達なんですか？」と、佐野は歩きながら聞いた。

「親類ですの。」

ゆり子は、不良外人なぞと親類なのかしらと、自分の親類のことを恥しかつたけれども、仕方がなかつた。

佐野は、不二家の前まくるとゆり子を振りかへつた。

「ソーダ水でも、飲んでゆきませんか。」

「ね。」

ゆり子は、ちやうど咽喉がかはいてゐたので、佐野と一緒に入つて行つた。

ボーイは、ブースもテーブルもいつぱいだつたので、二階にあがつて行くと、そこも、かなり混んでゐたが、漸つさ、壁際に空いたテーブルを見つけて、二人はイスに着くことが出來た。

「あの奥さんは、あなたのお友達なんですか？」と、佐野は歩きながら聞いた。

「親類ですの。」

ゆり子は、不良外人なぞと親類なのかしらと、自分の親類のことを恥しかつたけれども、仕方がなかつた。

佐野は、不二家の前まくるとゆり子を振りかへつた。

「ソーダ水でも、飲んでゆきませんか。」

「ね。」

ゆり子は、ちやうど咽喉がかはいてゐたので、佐野と一緒に入つて行つた。

ボーイは、ブースもテーブルもいつぱいだつたので、二階にあがつて行くと、そこも、かなり混んでゐたが、漸つさ、壁際に空いたテーブルを見つけて、二人はイスに着くことが出來た。

◇ ◇

JAPAN RICE
Grown in California
EXTRA FANCY
CALCIUM COATED RICE
防長
BOCHO
BRAND
THE SANKIO COMPANY
SAN FRANCISCO

防長米とビタミンB

最近の學說に基き精米した防長米を常用することは身體を強壯にして家庭から病魔を驅逐する唯一の方法であり升

近代ノ日本人ノ體力ガ弱クナリ、
又ハ生存年齢ガ短クナツタ原因ハ
ビタミンB ノ欠ケテヰル白米ヲ
用ユルニ起因スルトハ學者ノ說ノ
一致スルトコロデアリマス

論より證據直に御試みを

桑港 三協商會精米所

四十日が僅か二三日で

もふ日本品は一々故國へ御注文になる御必要は御座のません
弊店の日本品の充實は優に皆樣方の御滿足を得る事と存じます
故國へ御注文になればお早くて四十日近くお待ちにならなければなりません
せんが堀へ御用命下されば僅か御端書に一ツのお手間で二三日中にはお好みの日本品が皆樣の御手許に屆きます。(左は最近着の品々)

お働きにお樂な
あさひ足袋靴
一足 一弗六十五仙
コハゼ式、脱ぎ穿き自由、絶對に砂の入るのを防ぎ且つ甲高、幅廣。

日本のお裁縫鋏
一挺 七十五仙
特に解き物等に御便利な日本のお裁縫鋏、長さ六吋。

御安眠には
敷き吳座
3/4ベッド用 九十五仙
お疲れて疲苦しい方は是非御試用下さい
御安眠に飽る妙、ダブルベッド用一弗卅五仙

縮緬と少しも變りのない
御幸錦紗
一碼 二弗五十仙
幅二十九吋、縮緬友禪と一見少しも變り無い許りでなく御値段に實に四分の一

お珍しい
海ほうづき
一ツ 一仙
眞本の昔を充分お偲びになれる海ほうづき外にゴムほうづき、丸形豌豆形共一つ一仙

ビクニツクの御裝飾に
モス國旗
十五仙
大きさ十三吋×十吋半
海軍旗、日の丸又は星條旗

ビーチや砂遊びに
セルロイドのバケツ
卅五仙
絶對に危險の無いセルロイド製ダブルハンドル
セルロイドのシヤベル附

風雅な
繪日傘
卅五仙
本年のニューデザイン、ニューハンドル
シルクパラソル四弗五十仙

お日覆に
經木のすだれ
二十仙
長さ二十三吋半、幅十二吋、お涼しそうな山水畫入り
小窓のお用に好適

お孃樣用
新モス着物
三弗五十仙
但し右は五歳用、六八歳用四弗、十歳以上五弗七十五仙
大人物 六弗五十仙

皆樣の
堀兄弟商會
231 E. First St., Los Angeles, Calif. Phone VA (ヴァンダイク) 0607

南加版

電話 MUTUAL 八四一五

同胞の肩身がひろい 前野君の名譽

庭球選手で成績抜群

オクシデンタル大學を卒業したのタイムス寫眞版に大々的に紹介して居る。運動部の學生は大抵に金メダル、良會で設衝された軍部ムス主幹元羅府日米記者）に依り中堅欽郎、木津由之助の兩副會長を擁し、書記にはケンタッキー州セントラル大學經濟科出身の鹿加古兎一、森商業の兩書記が選ばれた。時に會長は見島縣人中釜榮氏を採用し七月一日から就任する事となつた。加にお聞染の井上協子、行雄の快男兒であり、中釜新書記は當年三十二才の呼吉せ青年で、日本の中學卒業後渡米しセントラル大學卒業後渡田太平洋横斷飛行に過去一年働いてゐた南加の事情に聞れた後書記長に立する事になつた。書記長の方は四五名の應募者があつたが何れも適任者が現れるまで臨時に書記長の親井一劍氏（南加タイ

羅日書記長の椅子に 一劍居士居据る

四幹部の補充も出來て 正式に成立した遠山内閣

新書記は中釜榮氏

人ばかり

問題の羅府日米新聞社は昨夜八時から日米會館で臨時に會議を開き、遠山書記長の親井一劍氏（南加タイムス主幹元羅府日米記者）に代り中釜榮氏を採用し七月一日から就任する事となつた。加にお聞染の井上協子、行雄の快男兒であり、中釜新書記は當年三十二才の呼吉せ青年で、日本の中學卒業後渡米しセントラル大學卒業後渡田太平洋横斷飛行に過去一年働いてゐた南加の事情に聞れた後書記長に立する事になつた。書記長の方は四五名の應募者があつたが何れも適任者が現れるまで臨時に書記長の親井一劍氏（南加タイムス主幹元羅府日米記者）に依り中堅欽郎、木津由之助の兩副會長を擁し、書記にはケンタッキー州セントラル大學經濟科出身の鹿加古兎一、森商業の兩書記が選ばれた。時に會長は見島縣人

フレスノ（三十日）
三十八年間の交遊
（逝いた荻村君と私）
亀野景治

飯野君と私との交遊は、丹七でたり、夜遠くの海上に火をみ八ケ年に跨つてゐる。長いといへば相當に長い。往時を回顧すれば、打よする波をあびてはこれが片男波だなぞと話しあつたり、夢のやうである。秋葉山といふお寺か神社かが近つては、その感がひしひしと脚くにあつて、よく晩めしのものの飲食に出かけた。

▲

君は同志社に來り學ばれたのは明治二十四年、麹町先生、浸後の同志社に、小崎弘道師が總長となつた年である。同師と何等かの因緣があつたらしく學費なぞお父さんから同師に送つて來て、小遣ひを同師から貰つてゐたと、いつかの話に聞かされたことがある。

▲

君は同じクラスになつて可なり親しくしてゐた。今フレスノにゐる河田しつ子、みち子のお父、沖縄縣人比嘉山戸氏は四ケ年前、河田實一氏の手をへてウエスタンステーツ生命保險會社に加入したので、今回二千弗也、隔日代理人を經て遺族に支拂はれたさんの兄さんの故河田謙雄君も同じクラスだつたやうに思ふ。志社は米國流に土日に授業がなかつたので、その名物の脚絆に足袋さいふ粉袋で、よく共に比叡山に登つたり、靈岩山の滝壺に集めしを喰ひに行つたりしたものだ。

▲

君もその實峰の同志社學生の殆ど全部がそうだやうに、勝まもしかとかない短い筒袖を着て、肩を怒らし腰に西洋タオルをぶら下げ、駒下駄をはいて東洛の町々を横行してゐた、丈の低い、色白の丸顔（それは四五年前の襲君そつくりだつた）こゝろもちさへも、小蒸汽にのつて堂日の朝まだき、雲雀ゆる白鷺城を眺めた。和歌山の港は遠淺だつたので、天滿の繩船で一里ゑ渡ゆられながら上陸した。君は船酔に弱いので、今日もそうであるし、赤飯を蒸白にして吐瀉なさしぶ。

▲

もつとも印象に殘つてゐるのは明治廿五年か六年か夏休みに、同盟十人ばかりで和歌の浦に海水浴に出かけたことだ。まだ和歌山まで開通してゐなかつたので、大阪の天保山沖まで汽船で和歌山港を横切つて、ころなのを、太阪の天保山沖に、小蒸汽にのつて堂日の朝、同盟の鮮から出發した。君は甲斐の山奥に生れたので、海は始めてだらう。道理で泳ぎは河童だなぞ、ひやかされたりした。二三週間の滯郷に、紀三井寺に遊ぶ。

▲

時に和歌山へ牛肉を喰ひに行つた。夜なぞ淋しい土旅屋數軒の域に踏み迷つたり、白粉をベタ一になつた怪しい女共のゐるうちへ、牛肉屋とさりげなくて月光をあびて松並樹のみちを「立海灘月清く」の軍歌を唱へつゝ、同盟が牛肉飲財のお城下から、和歌の浦に歩き歸るのであつた。

つゞく

修業式並に談話會
デレノ通信

デレノ學園にては六月中をもつて今期中の授業を了るはやに日本人ホールにおいて修業式を擧行、その後にて生徒の談話會を開催せり。來會者約百八十餘名、其後會なりしと。ちなみに式並に談話會のプログラムは左の如し

修業式順序
司會者　味園文母の會長
開會の辭　同盟の會長
米國々歌　一同
訓辭　同盟
閉會の辭　司會者
談話會プログラム
上田惠美子　花さか爺
栗栖清子　良い子悪い子
片野道子　矢野君子
吉田正　中釜文子
味園敏子　高木まさる
藤田澄江　星のかすみ中の私達
「用水池」の所感　藤谷孝夫
星さりの話　味園夏子
ジョンギブソン　酒井弘己
扇の的　井上享
佐々木幸雄　吉田トキ子
藤谷みつ子　一休和尚
桃太郎　「八幡太郎義家」の所感　矢野正夫
味園笑子　白兎の話
眼の廣さ　高木フミ子
折口ハツミ　菊地エミ子
牛若丸　「萬壽姫」の所感　井上敏子

大火災
ルーサン農園

昨夜十一時ごろ世界第一の葡萄園と稱せらるルーサン農園の乾燥室より原因不明の失火あり、パッキングハウス貨車一臺その他の大建築物が防火水のないところとて見る〳〵うちに類焼し、損害約十一萬弗と見つもられて居る。幸ひ日本人部には何等の損害を蒙らず、引き主任をはじめ中山、佐野、片岡、松谷諸氏は無事であると

ハンフオード
日本人部無無難
三澤年秋、竹崎支配人、王任氏および真野新世界支配人、主任諸氏の

研究會起らん
二世問題につき

去る廿日日曜ニコ〳〵ホールで開催せる研究會に出席した增田寅三郎氏司會者として、ハンフオード、ルーサン、ハンフオード、ロッドおよび桑港よりも參列した增田氏は、桑港よりも參列した增田氏は、桑港よりも參列した增田氏は、

スタクトン（三十日）一九二九年六月三日

地方の多くは 田中内閣瓦解歡迎

日米社が機敏の報道

田中内閣總辭職の特電が本社に到着したのは支社に輻輳してきたのは本社は直に街頭に掲示して田中内閣の總辭職を報道した▲須市に掲示と同時に樓亞地方にも同様の報道をつたへ、而して街頭に同胞のこれに對する批評は幾分か「當然」視してこの報道を迎へてゐる傾向である、頑固の田中大將早く辭職するが當然であるとの意味である、在米日本人が東京特電のみを通じて見た田中内閣は無能の不評判であつた大多數は内閣瓦解を心から歡迎したのであると觀察しうる程であつた、何人が大命を拜受するか同胞は頗る緊張して後報を待つてゐる

●過六三郎氏永眠　須市郊外の農業家山口鶴玖河郡内身迫六三郎氏（五七）は六月卅日午前八時に病死して死亡す葬儀は來七月三日午後二時須市佛教會堂にて營まるべし、尚因みに氏には十六歳の乳呑兒あり昨年の秋迫氏が入院の時より女の細い腕で一家をさへ來たるる今日の不幸に對し社會は深く同情しまれり

●早川出郷　早川出郷は明日廿一日の一曲鄉早川流演ずる自前日本一の曲鄉早川流の曲藝は明三日午後三時より八時まで、八時より十二時まで花々しく舉行すると

●暑い夜　市内商業センター街に店では七月一日より「週間」の店のことと破格大勉强で大賣だ

●無線の賣だし　市内無線商高橋商店は特賣向に對して第中見舞品を配布す

日本人街 近くの大火

六月卅日午後三時半西マーケット街四七番キング半食店の建築物内より火を失し折柄なら乾燥した西の强風にあふられ同半食店の建築物内にある質屋、スペイン人のステショナリーの二商店は瞬燃の厄にあひたり、而してこの半食店の裏のカテジーには同胞五家族居住し火焰盛んに燃えつ頃は延焼を氣づかはれたりつありたるが同胞の多くは消防に有利にして幸わづかの損害もなく鎮火するにいたりたり尚同所に居住する人々は尾形忠三郎、市川耕蔵、荒川柳太郎宮崎愛之助、後藤義松の諸氏にして共に無難なるをわたり、尚右半食店建築物の火焰盛んなるこれ風のため遠くに火玉をはこんでタフトホテルのオーシングに燃移り或ひは西田球場建物の家根に飛火し安那人街の家根に同様火玉のため火を發するにいたりたるが何れも事なく鎮火するに至りたるも日中の事なれば一時は大さわぎであつた

大和大敗

本日須市に遠征してきた大和野球部は十六―五の得點で空前大和の投手は主田力谷氏にして旭の投手は前回同様市下内年の敗をまねいて夕方歸途に就いたが、當日日系漁業者にギヤス、ボートの使用を禁止することは漁業法規に違反するとの理由で漁業者は從來禁止されてゐたギヤス、ボートの使用を禁止することに決定したが

町の人出

例年なら盛夏の頃はかなり多くの人出あり、管、ふる今年は稍おくれ日頃よりボーイ市する比島人多く市内は賑に大いに賑ひを呈しつゝありてこの人出は七月四日以後まで繼續するものとおもはる

●洋食店賣物　市内で白人客本位で不景氣しらやの洋食店主人ちかく商用の爲歸國につき格安に希望者に賣渡し希望者は至急申出米支社に問あはされたしと

右判決を 上告はせぬ

日系漁者には動力船を使用させよと政府から返電

バンクーバー（廿七日）

第二漁區（スキーナ方面）の日本人漁者は十九日朝ブランスポートの警察裁判所にひらかれる裁判結果、漁業者はギヤス、ボートの使用を禁止せる條項なきこと、從つて日系漁者にギヤス、ボートの使用を禁止することは漁業法規に違反する旨、一百人漁者の起訴を却下し同區内の日系漁者は從來禁止されてゐたギヤス、ボートの使用をなすべきことに決定したが

右判決は

監督官はこの裁判の結果を報告すると共に、漁業官として取るべき態度につき地の漁監督官たるマザーウエル氏を通じオタワの主務省あてに之が電報を發つについ指揮を申請しあるところ、昨日の日附にて、返電マザーウエル氏の手許に到達し、即ちその回答によれば「日系漁者に對するギヤスボートの使用については本度中何ら漁者に從來禁止されてゐたギヤス、ボートの使用をなすべきことに決定したが

此判決は

あたへられたる此判決は漁業官よりも漁監督官たるマザーウエル氏を通じて漁者に從來禁止されてゐたギヤス、ボートの使用をなすべきことに決定したが

日系漁者

は今後當分の間にて、漁業官よりも漁監督官たるマザーウエル氏を通じて漁者に從來禁止されてゐたギヤス、ボートの使用をなすべきことに決定したが

ギヤス ボート事件 上告はせぬ

日系漁者には動力船を使用させよと政府から返電

バンクーバー（廿七日）

第二漁區（スキーナ方面）の日本人漁者は十九日朝ブランスポートの警察裁判所にひらかれる裁判結果、漁業者はギヤス、ボートの使用を禁止せる條項なきこと、從つて日系漁者にギヤス、ボートの使用を禁止することは漁業法規に違反する旨、一百人漁者の起訴を却下し同區内の日系漁者は從來禁止されてゐたギヤス、ボートの使用をなすべきことに決定したが

夫と子供を振りすて 支那人と駈落した女

誘惑に落ちた小池まさ子 夫榮作から訴訟提起

ニューヨーク（廿六日）

日本人の妻である子供を振捨てゝ支那人と駈落した女は本人の妻である子供を振捨てゝ支那人と駈落した女は本人の妻である子供を振捨てゝ支那人と駈落した女は

A Newspaper For All Peoples Interested in the Welfare of Japan and The Japanese People

The Japanese American News

THE LARGEST JAPANESE NEWSPAPER PUBLISHED OUTSIDE OF JAPAN

The Largest English Section Published Daily by Any Japanese Paper On This Continent

NUMBER 10659. Entered at the San Francisco Post Office as Second Class Matter. SAN FRANCISCO, CALIF., TUESDAY, JULY 2, 1929.
Copyright 1928 By The Japanese American News
Per Month $ 1.00
Per Year $11.00

2 SOCIETIES HOLD JOINT DEVOTIONAL

Inspiring Talks And Music Enjoyed By Young People

Members of the Epworth League and the Christian Endeavor Society took part in an inspiring joint devotional held Sunday evening at the local Methodist Church on Pine street.

This meeting, under the title of "Dr. Smith's Family Night," proved to be an inspiring affair. High devotion to Christian ideal of service, unselfishly rendered for salvation of fellow men, was the underlying theme. Miss Yuki Kuwahara, young people's religious director of the Methodist Church presided.

Following the prayer by Francis Hayashi and scripture reading by Miss Edith Tsuruda, Dr. Smith gave a beautiful baritone solo, "Sunrise and Sunset." Dr. Smith and Mrs. Smith sang "In Heavenly Abiding," together. Dr. Smith is the superintendent of the Japanese Church of the Pacific Coast area.

MISS PAULINE SMITH

Miss Pauline Smith, a graduate of Kansas University, who is at present teaching English at a high school in Kansas, gave a talk on her aspirations for missionary service in a foreign land. Born in Japan, whose custom and traditions are dear to her, she has long held a desire to return for her life work. She is planning to go there, she said, sometime in November of 1930, to realize her cherished ambition.

Following Miss Pauline Smith's talk, her sister, Miss Catherine Smith, sang beautifully a sacred selection, "Unto the Hills".

She is a junior at the University of California.

Miss Eloise Smith the eldest sister, next gave a witty and enlightening talk on her project for a missionary work in Korea, where she will chiefly work among the Japanese women. She is an instructor in economics in a high school in Kansas.

Miss Pauline Smith next rendered a soprano solo "O Saviour Hear Me." She was followed by Mrs. Smith, who delivered the concluding talk. She said that her two daughters, Pauline and Eloise, are setting upon their missionary work to the Orient some 25 years after Dr. Smith first left the same soil for the same task beyond the sea.

Dr. Smith next gave a benediction, and this was followed by a little social hour during which refreshments were served and young people enjoyed informal conversations. About sixty persons, both old and young, were in attendance.

FINAL MEETING FOR E. L.

The meeting was the last devotional for the Epworth Leaguers until after the summer vacation. They will again meet on August 10 to begin the new semester program. On the other hand, the Christian Endeavor Society will continue with their weekly meetings throughout the summer, and the Epworth League members are invited to join them.

800 Labourers Of Japan Strike For Better Condition

Special to The Japanese American News

YOKOHAMA, July 1—Labour unrest today gripped the city of Yokohama when 800 employees of the Oki Electric Company struck for better treatment, while the entire employees of the Municipal Railway started a modified form of sabotage by retarding service. Employees of the other municipal departments, including those connected with water and power service and public works, have decided to conduct a sympathy sabotage.

TOKYO, July 1—From tonight, night work in the entire nation will be abandoned in accordance with the provisions of labor convention drafted by the League of Nations.

BROMLEY TO TEST PLANE

Will Hop To Nippon Direct From Portland Shortly

Special to The Japanese American News

LOS ANGELES, July 1—Test flights of the plane in which Lieutenant Harold Bromley will attempt a flight from Tacoma to Tokyo will be made Tuesday, the flyer announced today.

Bromley is one of the several who will attempt the flight across the Pacific this summer. John Sumitaka Kubota, with Major Livingston Irving, will fly from the Oakland Municipal airport for Honolulu and from thence to Japan some time after Bromley's attempt.

SAC'TO WILL STAGE SUMO THIS JULY 4

Four Major Cities Of North Section Will Vie For Title

SACRAMENTO, July 1—The Japanese community will celebrate the Independence Day this year with a huge sumo tournament, which is expected to attract a large crowd of Japanese enthusiasts from farms and towns for miles around. The tournament will be staged Thursday on the Yolo ground.

Under the bright mid-summer sun and with a vast array of spectators encircled around the "dohyo", more than a score of valiant youths, who are pride of half a dozen Northern California cities, will vie for the wrestling honors. There will be teams of five wrestlers each from San Francisco, San Jose, Fresno, and from Japanese centers of this vicinity. A lively competition is expected to develop, assuring thrills aplenty for the lovers of this "he-man" sport of Nippon.

San Francisco, which took second place in the state championship tournament held in Los Angeles about a month ago, looms as a strong contender for the Northern title. The present tournament is being sposored by the Sacrameto Taiiku Association, a member of the State Sumo Association.

Adventurer Club Elects Officers

The following officers of the Blazing Arrow Adventurers Club of the Japanese Y. M. C. A. Boys' Division were elected to serve on the 1929-1930 Adventurers' Council.

President, Minoru Ichiyasu; 1st. vice pres., Roy Abe; rec. secty., Akito Enomoto; corr. secty., Hiroshi Fujii; treas., Masauki Hara; sergt. at arms, Tadao Kawabe; yell leader, Kiyoshi Fujita.

Japanese Boy In Los Angeles Wins Yo-Yo Tournament

Special to The Japanese American News

LOS ANGELES, July 1—The most popular toy today among the boys and girls of the country is the yo-yo, a double faced, thin, circular wooden affair with a 3-foot string attached to it. So popular was this device, that a contest was held in this city by the Broadway Department store.

Entering the contest with 300 others, on Sturday, June 22, Toshio Nakamura, a student from the Hollenbeck Junior high school, displayed to the judges so many tricks with his yo-yo that he was unanimously declared the winner. He was awarded a silver cup. By virtue of this victory, the Japanese youth was announced as all-city champion. Similar award was also given to the champion among the girls.

PACIFIC AIR TRADE SEEN

Will Be Realized In 5 Years Says U. S. Correspondent

Zepplins will be flying regularly across the Pacific Ocean from Los Angeles to Tokyo via Honolulu probably within the next five years. The only reason these giant dirigibles cannot be placed into service earlier is that capital has not yet been sufficiently interested in such ventures. Since, however, the memorable kight of the Graf Zeppelin across the Atlantic Ocean last October, there has been tremendous interest in airship travel and already financially sound establishments are backing trans-ocean lines. So it will not be long before Japan will be linked with the United States by a fleet of fast, safe and comfortable Zeppelins.

This briefly is the opinion of Mr. Karl H. von Wiegand, world-famed newspaper correspondent and head of tthe European bureau of the Hearst newspapers. Mr. von Wiegand, who arrived in Japan recently aboard the President Jefferson from San Francisco for the purpose of arranging with officials of the Japanese Government for the fueling of the Graf Zeppelin during the proposed forthcoming world flight of the giant aircraft this summer, was the only American newspaperman aboard the Graf Zeppelin on the dirigible's first voyage across the Atlantic Ocean last October.

SAFER THAN PLANES

The visitor predicts that as soon as Honolulu and Los Angeles are linked by air, which certainly will be before very long, steps will be taken to join Japan and the Pacific Coast of the United States through the medium of lighter-than-air craft. Airplanes, Mr. von Weigand predicts, will not be employed in trans-Ocean flights for some time to come due to their inability to carry sufficient fuel. A Zeppelin, on the other hand, while capable of making the trip from Los Angeles to Honolulu in 30 hours, is, at the same time, able to remain in the air for about a week. Mr. von Weigand, as a result considers dirigibles far safer than airplanes because they do not depend on their motors to remain in the air.

In speaking of the forthcoming world flight of the Graf Zeppelin, the noted writer declared that there was not the slightest doubt in his mind that the voyage would end successfully. The trip across the Pacific which, incidentally, will be the first non-stop flight across that vast expanse of water, will be made by taking the northern route. The dirigible will fly just south of the Aleutian islands and will touch the Pacific Coast probably at Victoria.

4 GRADS ARE HONORED BY C. E. SOCIETY

San Mateo Guests Add To Gayety Of Fete Saturday Night

In order to honor four high school graduates, together with Miss Kimi Bepp, who recently returned from a year's study trip to Japan, the local Christian Endeavor Society of the Japanese First Reformed Church gave a gala social at the Community House on Post street Saturday evening.

A delightful informality marked this affair, in which no speeches were made, and the young people joined in the spirit of festivity from the very beginning. An agreeable surprise made the evening more enjoyable when ten Endeavorers from San Mateo joined the party. A group of nearly forty young people attended. Miss Kaoru Miura led the games, and the refreshments were prepared and served by a committee headed by Tsune Baba.

The guests of honor were Misses Kaoru Saito, Mary Tsujisaka, Uta Ogawa, Chiye Omori, and Kimi Bepp.

SOCIAL WORK IS DESCRIBED

Japan Program Well Organized Avers Kobe Experts

Organized social work in Japan is only ten years old, but its development has been rapid and today the Imperial Government, through the Bureau of Social Affairs attached to the Home Office, as well as Japanese municipalities and various semi-official agencies, is actively concerned both with the relief and prevention of social ills.

This information is conveyed by the Japanese delegates to the National Conference of Social Work that is being held in San Francisco from June 26 to July 3. Eight delegates were sent from Japan.

CHILD WELFARE

Social work in Kobe is being concentrated especially upon the welfare of children, as the hope of the country lies in its youth, according to three of the delegates from that city who are now in San Francisco, namely, Y. Kimura, director of the Bureau of Social Affairs of Kobe Municipality; Mrs. Kuni Mochizuki, principal of the Kobe city kindergarten, and volunteer probation officer, and N. Nakamura, chief commissioner of the Kobe Local League of Boy Scouts.

EMPLOYMENT AGENCIES

Among the institutions conducted by the Kobe municipal government are children's welfare organizations, various activities for workingmen, such as public dining rooms, municipal lodging houses, small homes for workers and public pawn shops. The city also conducts employment agencies and labor exchanges.

These exchanges, according to Mr. Kimura, are divided into separate departments; one for children between the ages of 14 and 18; one for women and others for salaried, skilled and manual workers. There are seven such employment agencies in Kobe, three hospitals, both in and out patients, and a Children's Welfare Department with bureaus for vocational guidance, medical clinics, day nurseries, palygrounds and recreational centers.

The city also retains seven district midwives who make the rounds of the poorer sections, and there are four district nurses.

60,000 ARE UNEMPLOYED

While special emphasis is laid upon child welfare work, attention is also paid to the unemployment situation, which is rather serious, about 600,000 persons being unemployed throughout Japan, of which number there are 12,000 unemployed in Kobe.

Ten thousand children are being cared for in the seven public and thirty private kindergartens of Kobe, according to Mrs. Mochizuki. More women are being trained as kindergarten teachers, she says, and women teachers are also increasing in the grammar schools.

BOY SCOUT

Japan ranks third in Boy Scout organizations, the United States being first and Great Britain second. There are 84,000 Boy Scouts in Japan, 4000 being in Kobe alone.

YUKO HAMAGUCHI, MINSEI LEADER, EXPECTED TO GET ORDER TO FORM NEW CABINET AS TANAKA RESIGNS

Final Cabinet Meet Decides Resignation in Body

HAMAGUCHI IS NEXT PREMIER

TANAKA'S DOWNFALL TRACED TO AFFAIR INVOLVING DEATH OF CHANG

TOKYO, July 1—The Japanese government will fall probably tomorrow with resignation of Premier Tanaka and his cabinet.

The action was decided upon this morning at an urgently summoned cabinet meeting, after a crisis precipitated by handling of the Kellogg anti-war pact, and the investigation of the assassination of Marshal Chang Tso-lin at Mukden last year.

It was believed Yugo Hamaguchi, leader of the Minseito or opposition Liberal party, and home minister in the 1926 government, would be requested by Emperor Hirohito to form a cabinet with Baron Kijuro Shidehara, Japanese ambassador at Washington in 1922, a foreign minister. Admiral Hyo Takarabe was expected to be minister of the navy.

The cabinet crisis is the outgrowth of the assassination of Marshal Chang Tso-lin, defeated northern China war lord, last year at Mukden while in territory over which Japan has acted as protector.

Investigation of the assassination absolved Japanese military officers of blame, it was understood, but punishment was insisted upon for certian officers for failure to notify the home office of withdrawal of their supervision on the night of Chiang's arrival.

The minister of war, General Yoshinori Shirakawa, protested this, and was understood to have maintained an intransigeant attitude which precluded further co-operation with either him or any other officer of the army, which backed him.

Climbing Of Mt. Fuji Opens With Annual Ceremony

Special to The Japanese American News

TOKYO, July 1—Sport lovers of the nation are centering their attention today to the little town of Yamaura, at the foot of Mt. Fuji, where appropriate ceremonies will be observed to launch out this year's annual mountain climbing season up the slope of Mt. Fuji, Japan's most beautiful peak.

Those who started off on their annual pilgrimage today will be delighted with the cherry blosoms that are now in full bloom on the high crest. Due to the cold atmosphere up that altitude, cherries are in bloom about two months after the season.

EMPEROR TO BE ADVISED

Genro Stateman Will Name Hamaguchi For New Premier

Special to The Japanese American News

TOKYO, July 1—Premier Tanaka is expected to tender the resignation of his Cabinet to the Emperor to morrow morning at 10 o'clock. Immediately thereafter His Majesty is expected to consult Prince Saionji, elder statesman, on the formation of a new cabinet. Count Makino, the lord chancellor, will also be consulted. It is generally conceded that the choice for the next Premier will fall upon Yuko Hamaguchi, who will probably be summoned on the same day to the Imperial Palace for commission to form the next Cabinet.

After the final meeting of his Cabinet today, Premier Tanaka and his Ministers enjoyed their last dinner together and propose a toast for another occasion in the future when they may meet again to guide the destinies of the Empire.

Hamaguchi Will Form Liberal Cabinet For Emperor

SHIDEHARA FOR FOREIGN OFFICE

WAKATSUKI, YAMAMOTO, OR INOUYE MAY BE CHOSEN FOR FINANCE POST

TOKYO, July 1—The probable line-up of Hamaguchi's new liberal cabinet, which is expected to succeed General Tanaka's conservative administration follows:

Premier—Yuko Hamaguchi, head of the Minseito or liberal party and former Home Minister during Wakatsuki administration.

Foreign Minister—Baron Kijuro Shidehara, former ambasador to Washington. He was also Foreign Minister in the Kakatsuki Cabinet.

Home Minister—Yoku Egi.

Finance Minister—Junnosuke Inouye, former governor of Bank of Japan; or Tatsuo Yamamoto, former leader of Shinto Club; or Reijiro Wakatsuki, former Premier.

Army Minister—Gen. Issei Ugaki, former minister of army or Gen. Masataro Fukuda, the man who attracted attention by keeping order during the confusion of the great earthquake.

Navy Minister—Admiral Takarabe, Navy Minister in the Wakatsuki Cabinet.

Railway Minister—Kenzo Adachi, veteran Minseito leader.

Communication Minister—Kazuto Obashi, member of Lower House.

Commerce Minister—Genji Matsuda, veteran Minseito leader.

Agriculture Minister—Chuji Machida, former governor general of Formosa.

former Mayor of Tokyo.

Minister of Colony—Mototaro Furihata, veteran Minseito leader.

Minister of Education—Chifuyu Watanabe, member of House of Peers. He is a leader of the Kenyukai party, majority faction of the House of Peers.

Chief Secretary of the Cabinet—Koku Kawasaki.

Cabinet's Technical Advisor—Fujiya Suzuki.

Chief of Metropolitan Police Bureau—Giichi Matsumura.

Candidates for Governor Generals of the various colonies—Kurahei Iwasa, member of the House of Peers; Masahiro Ota, also member of the Peers; Eigi Ishizuka, member of the Peers; Sango Satake of Peers; Tsukei Sugawara, a Peer; Seiji Tsukamoto, a Peer; and Takashi Saito, member of the Lower House. They are all prominent members of the Minseito party.

Abe Placed Above Mecur In Annual National Net Meet

INDIANAPOLIS, July 1—Tamio Abe, Japanese Davis Cup star, was seeded No. 1 for the eighteenth annual national clay court tennis championship tournament, which starts here today.

The tournament committee, in selecting Abe today, placed him above Fritz Mercur of Bethlehem, Pa., who was the seventh ranking player in the United States last year. Mercur was the second seeded player and fourteen others followed him.

Sixty-four players will start the tournament. Fifty-one of the entrants are from States other than Indiana. Canada will be represented by two players, Dr. Arthur Ham, a Davis Cup man, and Walter Martin. Both are from Toronto, and both were among the seeded players.

THE WEATHER

TUESDAY—Fair and warm. Moderate northwesterly winds.

AN EPISODE IN IKKYU'S LIFE

(One-Act Play)

By S. Mushakoji

(Continued from Sunday)

Ikkyu: I admit there is something in what you say. But you may be sure that I drank sake only when I thought fit, ate flesh and took life when I shought it right to do so: Everything I did was justified on each occasion. At least they are not so sinful as you imagine.—Well, as to the teaching of Buddha, I don't worry at all for them.

R. S.: When are you justified in drinking sake and eating meat?

Ikkyu: I drink sake in the presence of those hypocrites who blame others for drinking sake and eating flesh, while committing the same sins in secret.

R. S.: You take life without reflecting upon the social position you hold. How do you explain for that?

Ikkyu: Well, I pretend to make nothing of taking life in the presence of those who threaten good people into the belief that one cannot take life without falling into hell.

R. S.: When are you justified in going to the licensed quarters

Ikkyu: Even libertines and harlots can attain spiritual enlightment if only their hearts are in the right place. In order to assure them of this truth, I go there, and see nothing wrong in it. I like harlots much better than you Samurais who are strict with others.

R. S.: What made you commit a fraud?

Ikkyu: First of all, it was to help those who have nothing to live on. Then it was to awake people from their foolish illusions. And last but not least it was to satisfy my inner man.

R. S.: Why did you stel then?

Ikkyu: Simply because I had had nothing to eat since the day before yesterday. I was once told of a poor master of a house who had suffered severe punishment for stealing some daifukumochi (that is, rice cake with beanpaste inside) because he could not bear to see his children crying at the top of their voices through hunger. Since then I made up my mind to steal when starving. You've never been without food for two days, have you? What would you do if your children began to starve? I have no patience with people who believed in punishing starving people when they steal.

R. S.: Now, tell me when you approve of writing poems which are as bad as obscene-pictures.

Ikkyu: You can't imagine what great pain young priests suffer only just because of their needless fear of carnal desires. I know too well how they feel and have great sympathy for them. When I tell them through poems that I myself am annoyed by such desires they will be greatly relieved.

This is my belief; (a pause) we should not blame each other for faults, but should be helpful and ready to forgive. You are not innocent of all sins, are you. If you are, I have the honor of seeing an unspotted man for the first time in my life. Pray let me have a good look at you. (Lordless Samurai throws the paper package softly down before Ikkyu and dashes out without turning his head. Ikkyu, holding his hands over the fire, looks as calm and serene as if nothing had happened. Helper peeps out from under the quilt).

Helper: We are safe at last! I've been very anxious about how it all would end.

Ikkyu: Ha! Ha! He was a simple good-natured Samurai, indeed. How did thing go with you?

Helper: All went well, sir. When I disclosed your name, he told me that he would have been only too glad to offer you the crockery if he had been properly asked. He was quite a jolly fellow.

Ikkyu: I wonder why I am so loved by everybody. (Helper starts to rise from bed.) Well, you can stay in bed a bit longer; I daresay you want your sleep out.

Helper: Thank you, sir. I'll accept your kind offer and sleep a little longer. (He goes to sleep again).

Ikkyu: When you awake you'll find supper ready. (A pause). Well, now for washing the rice. (The curtain falls.)

(End)

CAMP GIRLS SET FOR TRIP

Will Pitch Camp At At Mirabel Park August 2

Mirabel Park near Shinya Ranch on the Russian River bank will again be the scene of the local Camp Fire Girls' summer camp, which starts from August 2, and continues for two weeks.

This decision was reached at a regular Camp Fire Meeting held in their clubhouse on Sutter street Friday evening. Miss Chizu Nakagawa, president, acted as chairman.

Out for rest and recreation, these girls will spend their time in swimming, cooking, and studying woodcraft. They will be led by Miss Emily Sano, guardian.

The girls will enjoy a swimming party at the Women's City Club swimming pool on Post street next Friday afternoon.

Newsboy Wanted

WANTED—Reliable boy to deliver Japanese American News. Apply to Mr. Ichimaru, at the office of The Japanese American News, 650 Ellis Street, San Francisco.

$1,000 in Cash Given Away!

To Readers of
The Japanese American News
and
L. A. Japanese American

In Astounding Contest

June 1 to August 31

The Japanese American News, always a guardian and helper of the second generation young people, has launched a huge plan to give away $1,000 in cash to our readers.

The project is one of the most attractive and astounding offers ever undertaken by any Japanese newspaper on the Pacific Coast.

The contest is open to ALL OUR READERS, regardless whether they are our subscribers or not.

Many of our readers are students, who would like to earn money during the summe vacation in order to carry them through the next school term. By a little industry they may win not only the cash prize but also the cash premium which goes with each subscription.

Here are the prizes in The Japanese American News subscription contest:

First Prize	$500
Second Prize	$250
Third Prize	$100
Fourth Prize	$ 50
Fifth Prize	$ 25
Sixth to tenth prizes, inclusive, $15 each	$ 75

Our contest involves no complicated rules. It is simplicity in itself. Here are the rules:

1. **The contest will be conducted on the point system. Contestants attaining the highest points win the prizes in their respective order.**
2. **Those desiring to enter the contest must send in the applications, together with three one-year subscriptions or six half-year subscriptions, to the Subscription Contest Manager. These applications may be sent either direct to The Japanese American News, 650 Ellis Street, San Francisco, or to one of the branch offices of this paper.**
3. **Each qualified contestant will be given 1,500 points to start with.**
4. **All subscriptions must be for either The Japanese American News of San Francisco or The Los Angeles Japanese American News, or both. The subscriptions must be PAID IN ADVANCE, and they MUST BE NEW SUBSCRIPTIONS.**
5. **From the fourth to the tenth subscriptions one thousand points will be given each one-year subscription. Two half-year subscriptions will count as one one-year subscription.**
6. **From the eleventh to the twentieth subscription, fifteen hundred points will be given each one-year subscription.**
7. **For all subscriptions above this number, 3,000 points will be given each one-year subscription, or 1,500 points for each half-year subscription.**
8. **Besides these points toward the prizes, cash premiums of $2 will be given for each one-year subscription or $1 for each half-year subscription.**
9. **The contest opens June 1 and closes on August 31.**

OUR JUNIOR SECTION

BIRTHDAY GREETINGS

July 1—Grace Ichikawa.
July 2—Mary S. Kuratani.

—Junior—

From Yuki Yabumoto we have received a thoughtful, well written statement of what she considers our Club aims should be. If you are going to have the WEEKLY, Yuki, we prefer to print this there. We shall hold it until we hear from you. We thank you very much.

Buichi Kuse sends in a motto that may, at first reading, look quite simple to you. It did to me until I read it over several times. Then it seemed to me to be one of the best we have received. It is:

Be true
Be kind
To all others.

—Junior—

Dear Junior Members:

Howdy- All fine? Surely must be. Well, I do not have any good news this time. I'm sorry, but I'm digging. So soon as I dig it out I'll tell you what I have found.

May I ask you again that you write to me if you could and don't mind? I am your friend always and will be so glad to hear from you. I will be just as glad to write to you, too.

Lovingly
Utaka Tsutsui
P. O. Box 78
Hidalgo, Texas

We surely thank you for that letter, Utaka. I hope that you will get many replies to it. What did you see that made you sorry? Please write again and tell us, Utaka. Maybe you misunderstood. We do not remember putting any bad news in the Section.